

火災・救急件数(1月末日現在)

- ◆火災 11件【前年比 +3件】
- ◆救急 1,756件【前年比 -38件】

# 平成23年の災害統計

## 火災統計

昨年、市川市で発生した火災は115件で、平成22年の149件と比べ34件減少しました。

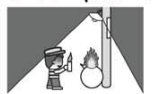
この115件の火災を種別ごとにみると、住宅などが燃えた「建物火災」が71件、次いでゴミや枯れ草などが燃えた「その他火災」が38件、自動車やバイクなどが燃えた「車両火災」が6件ありました。

「建物火災」は、火災件数全体の約62%を占めており、特に戸建住宅やアパート、マンションといった家庭からの出火が多くなっています。

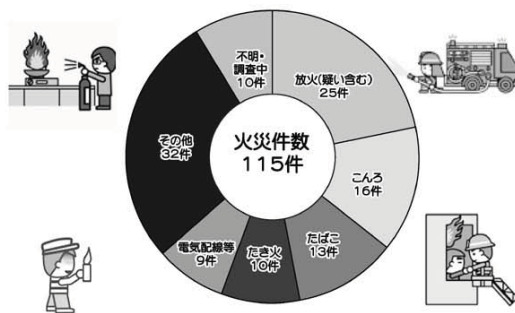
また、火災による死者は4人、負傷者は29人、損害額は約1億6870万円で、多くの尊い命と財産が失われています。

なお、昨年発生した火災を原因別にみると、最も多かったのが放火(放火の疑いを含む)で25件、これは20年連続トップとなります。次いでコンロが16件、たばこが13件で、これら3つの原因が毎年上位を占めています。

火災の発生を防ぐためには、一家の周りに燃えやすい物を置かない「寝たばい煙たばこの投げ捨てはしない」調理中はコンロから離れない「など、一人ひとりが火災予防を心がける必要があります。



## 平成23年 火災件数 (区分別)

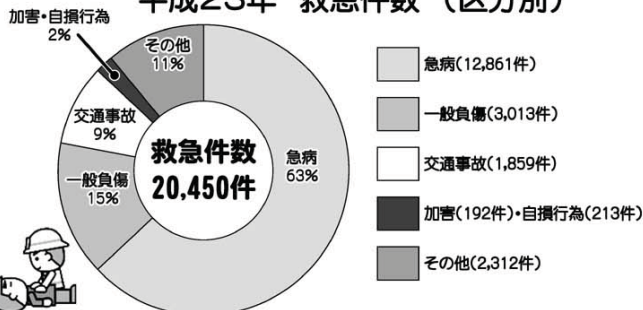


## 救急統計

昨年の救急出場件数は20,450件で、平成22年と比べて、1,085件の増加となり、1日平均56件、約26分に1件の割合で救急車が出動したことになります。また、搬送された方は18,544人で市川市民の約26人に1人が救急車で搬送されたこととなります。

救急要請の出動種別ごとみると急病が全体の約63%、怪我や骨折などの一般負傷が約15%、交通事故が約9%となつていま

## 平成23年 救急件数 (区分別)



## 救急救命士のワンポイントアドバイス

### この時期、ヒートショックに注意しましょう!

ヒートショックは、お風呂が原因での発症が多いため、家庭の中の少しの工夫で防ぐことができます。家族で十分注意しましょう!

### 1 ヒートショックとは?

ヒートショックとは、急激な温度変化が体に及ぼす影響のことです。室温の変化によって血圧が急激に上昇したり下降したり、脈拍が早くなったりする状態のことをいいます。

室温の変化にさらされた人間の体は体温を一定に保つために、血管が急激に収縮し血圧の変動や脈拍の変動を起こします。心臓には、思った以上に負担をかけることとなります。

ヒートショックは、心筋梗塞や脳血管障害などにつながりかねない危険な状態と言えるのです。

### 2 ヒートショックを起こしやすい人とは?

- 肥満気味の人や睡眠時無呼吸症候群のような呼吸に問題がある人
- 不整脈のある人
- 熱い風呂が大好き
- 動脈硬化のある人
- お酒を飲んでからお風呂に入ることがある
- 自宅の浴室には、暖房設備がない
- 高血圧や糖尿病の人
- 一番風呂に入ることが多い
- 65歳以上の方

この中でも、ヒートショックの影響を大きく受けやすいのは、高齢者と高血圧や糖尿病の人・動脈硬化のある人です。その他にも、肥満気味の人や睡眠時無呼吸症候群のような呼吸に問題がある人、不整脈がある人なども注意が必要です。特に高齢者は、血管がもろくなっている上、血圧の上昇幅が大きく、脳出血などを起こしやすくなります。

ヒートショックは、高齢者の人が家庭内で死亡する原因の1/4を占めています。

## 住宅用火災警報器の設置はお済みですか?

市川市火災予防条例では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。まだ、設置されていないご家庭は、早期の設置をお願いします。

なお、65歳以上の市民税非課税世帯には、警報器等給付事業を行っています。

### 住宅用火災警報器の奏功事例

#### 【事例1】

台所のガスコンロになべをかけた調理のまま寝込んでしまったが、隣人が火災警報器の音に気づき119番通報した。

#### 【事例2】

灰皿の吸殻をゴミ箱に捨て、隣室にいたところ、火災警報器の音に気づき、ゴミ箱が燃えているのを発見した。



※住宅用火災警報器は、寝室、寝室のある階の階段、台所に設置が必要です。

#### 【お問合せ】

- 住宅用火災警報器について 消防局予防課 TEL 333-2116
- 警報器等給付事業について 地域福祉支援課 TEL 334-1152



# 救急出動件数20,000件を突破!



救急車や救急医療は限りある資源です。救急車を上手に利用しましょう!

事故によるケガや急病など、万が一のときに、皆さんのもとに駆け付けるのが救急車です。市川市では、11隊の救急隊が24時間365日、市民の安心のために日夜業務を行っています。平成23年中は20,450件の救急要請があり、18,544人の方が医療機関に運ばれました。これは、市民の約26人に1人が搬送され、1日平均約56件、26分に1回救急出動したことになります。救急車を要請した人の約半数は、入院の必要のない軽症者でした。また、救急車が救急現場に到着するまでの時間が、年々長くなっており、このような状況では、一刻を争う生命の危険にある方への対応が遅れて、**本来救える命が救えない**、という事態が起きてしまう恐れがあります。

本当に重篤で救急車が必要な方の命を救うため、救急車の正しい利用をお願いします。



## こうしたケースで救急車が呼ばれました



- ・介護ヘルパーを呼んだが来てくれないので、代わりに救急車を呼んだ
- ・病院で待つのが面倒なので、救急車を呼んだ
- ・海水浴に行つて、日焼けした足がヒリヒリする
- ・紙で指を切った。血は止まっているが・・・
- ・蚊に刺されてかゆい
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・今日入院予定日だから、病院に行きたい

～本当に必要か考えてみましょう～



## こんな症状がみられたら、ためらわず救急車を呼んでください!!



### 大人

- 頭顔**
  - ・突然の激しい頭痛
  - ・顔半分が動きにくい、しびれる
  - ・ものが突然二重に見える
- 胸や背中**
  - ・突然の激痛
  - ・胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 腹**
  - ・突然の激しい腹痛
- 手足**
  - ・突然のしびれ、片方の腕や足に力が入らなくなる

### 子供

- 顔**
  - ・くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
- 頭**
  - ・頭を痛がってケイレンがある
  - ・頭を強くぶつけて、出血が止まらない、意識がない、ケイレンがある
- 胸**
  - ・激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しい
- おなか**
  - ・激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、意識がはっきりしない
  - ・激しいおなかの痛み
- 手足**
  - ・手足が硬直している

◎その他、意識がない、又はおかしい、広範囲のやけどなど、いつもと違う場合、様子がおかしい場合には、躊躇することなく救急車を呼んで下さい!

### ◇ 上級救命講習 ◇

- 受講対象者 普通救命講習Ⅰを受講済みの方
- 日時
  - ・平成24年3月13日(火)午前10時～16時 定員20名
  - ・平成24年3月18日(日)午前10時～16時 定員30名

### ◇ 普通救命講習Ⅰ ◇

- 受講対象者 市内在住または在学、在勤者で中学生以上の方
- 日時 平成24年3月9日(金)午前9時～12時 定員30名(無料)
- 講習内容 普通救命講習Ⅰ(3時間)
- 場所 八幡1丁目8-1 市川市消防局5階ホール  
消防局 電話 333-2111(代)

※申込みは、上級救命講習・普通救命講習いずれも、平成24年2月20日(月)午前9時から受付を開始します

～命をつなぐ関係プレー～



## 春の全国火災予防運動

3月1日～7日

消したはず 決めつけしないで もう一度



3月1日(木)から7日(水)の一週間、全国一斉に「春の全国火災予防運動」が実施されます。この運動は、これから春先にかけて気温が変化するとともに空気が乾燥し、火災が発生しやすい気候となることから、市民のみなさんの火災予防に対する意識を高め、火災から尊い生命と大切な財産を守ることを目的として行われます。消防局では、火災予防運動の一環として消防総合訓練や防火ボスターの掲示などを行い、火災予防を呼びかけます。みなさんも火の取扱いに十分注意して、火災予防にご協力をお願いします。

## 東洋蘭展示会

【日時】平成24年3月10日(土)・11日(日) 午前10時～午後4時

【場所】八幡1丁目8-1 市川市消防局 5階ホール

【主催】消防局花と緑の愛好会・市川東洋蘭愛好会



## 消防総合訓練実施

火災予防運動の一環として、施設関係者と消防職員による総合訓練を行います。



日時 平成24年3月4日(日) 午前8時30分から

場所 ヤココー市川中国分店 (中国分319132)

内容 避難・誘導訓練、初期消火訓練、救助・救出訓練、一斉放水など

問い合わせ 西消防署 TEL 323-0119